

横浜で日本地震学会が開催されます

10月7日から9日まで横浜で日本地震学会が開催されますが、それに先立つ6日午後1時半から一般向けの講演会（はまぎんホール、JR 桜木町駅徒歩5分）が開催されます。

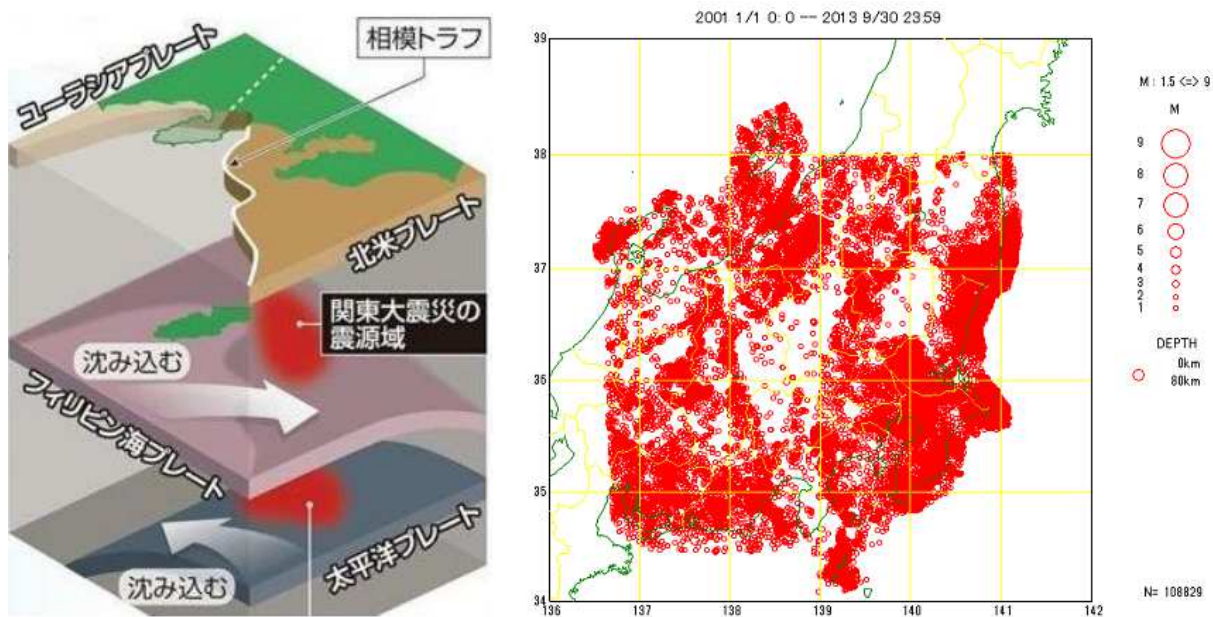
<http://www.zisin.or.jp/meeting/2013/index.html#9>

今年に関東大震災90年という事から関東大震災研究の第一人者の武村名古屋大教授が「神奈川県に関東大震災」と題して講演します。それ以外にもパネルディスカッション等が予定されています。

関東地方の解析を開始しました

こえまで関東地方についてはきちんとした地下天気図を公表してきませんでした。この理由は

- 1) 東日本大震災の影響で関東地方の地震活動のパターンが急変した
- 2) 関東地方は太平洋プレート、フィリピン海プレート等が複雑に重なっており、単純な計算が適用できないというのが大きなものでした。左下の図は関東地方のプレート配置の模式図です。

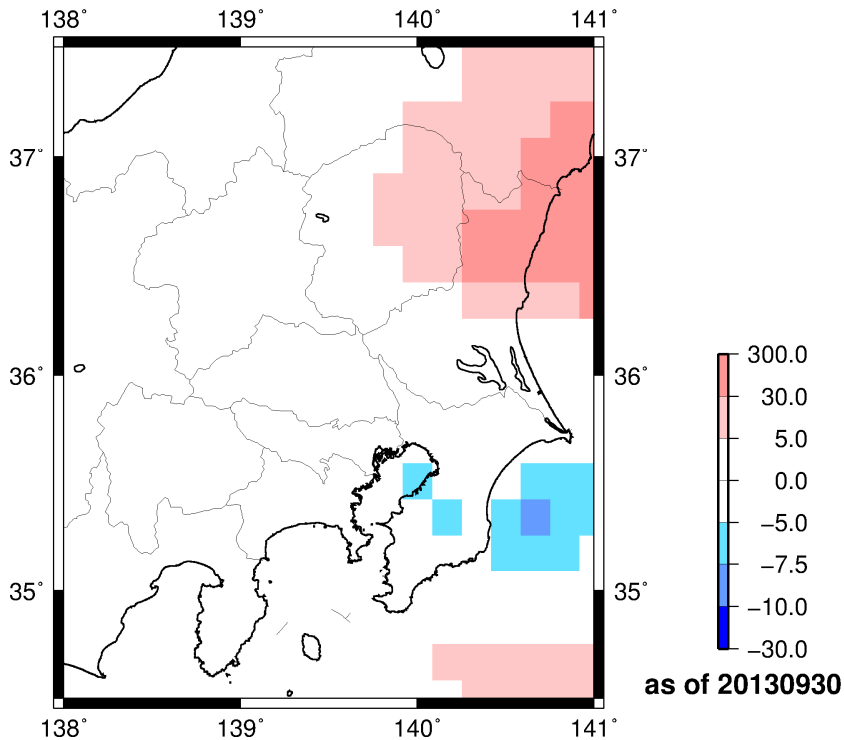


この図からも明らかなように首都圏の下には2枚のプレートが重なっています。これから色々な解析を試みますが、まず陸域に特化して解析を開始する事としました。右上の図が今回の解析に使用した地震です。

今回お示しする解析はこれまで過去の解析で、内陸地震で最も有効と思われるパラメータを用いています（2007年能登半島地震、2008年岩手宮城内陸地震でもっとも有効だったパラメータ）。ただ関東地方のこの複雑な構造を考慮しておりませんので、今回の解析がスタート地点と考えています。今後、深さ方向の解析範囲を変更したり、プレートの形状を考慮して解析を進めていく所存です。

2種類のパラメータの解析結果. いずれも 2001 年から 2013 年 9 月末までの地震データを使用. あまり大きな差異がみられない事が判明した. いずれのパラメータでも現時点では関東地方に顕著な異常は観測されておりません.

M15-80_D00-080_R050_T1.0_xr2_xt2_20010101-20130930_RTGrid_060x060.dat



M15-80_D00-080_R025_T0.5_xr3_xt3_20010101-20130930_RTGrid_060x060.dat

